

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2026 年 5 月 3 日 15 : 45
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
福岡第一	( 22 1st 16 29 2nd 13 21 3rd 23 13 4th 27 O T )	能代科技
85 ○		79 ●

主審:Crew chief  
田中 直幸 秋田  
副審:Umpire  
紺野 真史 山形  
諸沢 駿 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代松陽高校 女子

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
00	田中 柚稀	0	0	0	0	2		0	松田 来翔	4	0	2	0	0	
1	富 啓翔	4	0	2	0	0		4	金 隼輝	7	1	1	2	1	
8	宮城 昊河	-	-	-	-	0		8	下田 瑛斗	0	0	0	0	0	
9	清水 空	8	2	1	0	1		9	黒澤 啓太	9	3	0	0	0	
11	山端 元陽	4	0	2	0	1		12	大嶋 遥佳	8	1	1	3	2	
12	乙藤 睦拓	10	1	3	1	3		13	信太 虹輝	26	2	8	4	2	
15	吉川 煌雅	0	0	0	0	0		15	岸部 瑛大	14	4	0	2	1	
16	ソップ ハンソ	24	0	11	2	2		17	熊澤 隼	3	0	1	1	0	
17	ソップ デビシー	10	0	4	2	2		18	永井 瑛都	0	0	0	0	0	
18	鈴木 遥輝	2	0	1	0	0		22	鈴木 秀哉	-	-	-	-	0	
22	卓 承賢	-	-	-	-	0		25	大倉 悠暉	0	0	0	0	0	
23	池田 虎太	1	0	0	1	0		32	阿部 颯唯	6	0	3	0	4	
31	鷹野 遼磨	0	0	0	0	1		34	畠山 蒼馬	-	-	-	-	0	
44	津田 来輝	0	0	0	0	2		44	工藤 祥	2	0	1	0	0	
45	ガイ マザン	2	0	1	0	0		64	倉持 駿成	0	0	0	0	0	
58	柴田 悠真	4	0	1	0	0									
75	ジヨベ ヤアヤ	14	0	2	0	2									
76	南里 明玲	2	0	2	0	2									
コーチ	井手口 孝					0		コーチ	長谷川 聡					0	
Aコーチ	原田 裕作					0		Aコーチ	遠田 貴大						
合計		85	3	30	6	18		合計		79	11	17	12	10	

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

### Score ranking[Team]

1	24	28.24%	ソップ ハンソ
2	14	16.47%	乙藤 睦拓
3	10	11.76%	ソップ デビシー

1	26	32.91%	信太 虹輝
2	14	17.72%	岸部 瑛大
3	9	11.39%	黒澤 啓太

### Score ranking[Game]

1	26	信太 虹輝	能代科技	2	24	ソップ ハンソ	福岡第一	3	14	乙藤 睦拓	福岡第一
								3	14	岸部 瑛大	能代科技

両チーム本日2試合目、1敗同士の対戦。

1Q、能代科技は#15岸部のフリースローと#13信太のジャンプショットで3点をリードするが、福岡第一は#16ソップ(ハ)のパスカットからの連続得点で逆転する。その後は、お互いに速攻やリバウンドシュートなどで加点し、一進一退の攻防が続くが残り2分を切ったところで福岡第一#17ソップ(デ)、#16ソップ(ハ)がミスマッチをついた攻撃から得点を重ね、22-16の福岡第一6点リードで1Q終了。

2Q、能代科技は#4金の3Pで追い上げを図るが、福岡第一は#16ソップ(ハ)を中心として1on1やゴール下などで次々に得点を重ねる。能代科技は#15岸部と#13信太が途中で連続3Pを決めるも、無得点の時間帯が続き、防戦一方となる。51-29と福岡第一がリードを22点に広げて2Q終了。

3Q、能代科技はペイントエリア内の失点を抑えることができないままだが、切り換えを速くしたリズムよいオフENSEを展開し、互角の戦いとなる。このクォーターの3Pの本数は、福岡第一0本、能代科技4本。能代科技が流れをつかんではいしたが、大きく点差を詰めることはできない。72-52の福岡第一20点リードで3Q終了。

4Q、能代科技がフルコートディフェンスを仕掛け相手のミスを誘い、#12大嶋のドライブや#9黒澤の3Pなどで流れをつかむ。残り3:48、78-65と能代科技が13点差に詰め寄ったところで、福岡第一はタイムアウトを請求。その後も能代科技が差を詰めていくが追い付くまでには至らない。85-79で福岡第一が今大会1勝目をあげた。